

GREEN

Rader

全農長野県本部情報 グリーンレーダー

2026

7

Vol.566



©松本山雅FC

重点事業方針 A-Policy

生産振興部 生産振興課の取り組み

生産販売部 野菜きのこ課の取り組み

A-Reports

- | | | | |
|---------------------------------|---|--------------|----|
| ・令和8年度 長野県青果物・花き取引会議に80名が出席 | 5 | ・山雅スポンサー記者会見 | 10 |
| ・大阪市中央卸売市場にてレタスの販促イベントを実施 | 6 | ・JA全農長野の事業現況 | 10 |
| ・近畿大学生を対象に花育イベントを実施 | 6 | ・7月のラジオ番組表 | 10 |
| ・長野県A・コープ県下各店で信州農畜産物フェスタを開催 | 7 | ・経友会情報 | 10 |
| ・「京都食肉市場まつり」で長野県産農畜産物の即売イベントを実施 | 7 | | |
| ・東都生協・パルシステム東京との田植え交流会 | 8 | | |
| ・JA農機&資材フェスタ2026 | 8 | | |
| ・令和8年度 新採用職員紹介 | 9 | | |



光と風と水のハーモニー
JA全農長野

生産振興課

生産振興部 生産振興課の取り組み

J A全農長野生産振興部は、野菜・果樹の生産振興や、優良種苗の安定供給、営農技術員の指導体制の強化に向けたシステム開発、安全安心な農産物の生産体制、技術情報誌の発行など生産現場を軸に事業を展開します。

■生産振興『野菜』

令和8年度は野菜の生産振興として、アスパラガスの生産拡大において反収向上につながる灌水方法の検証（リモートpF機による土壌水分量の調査）、生産性向上が期待される新品種の評価調査を行っています。葉洋菜産地における輪作品目、新たな導入品目として生産拡大を目的にアスパラガス短期完結栽培、春まきタマネギ栽培の実証圃を設置し実証試験を進めています。

また、近年の異常気象や園芸作物の安定生産のための排水対策として、カットブレイカーや平高畝整形機（ベッドマイスター）などの研修会・実演会をとおして、各種レンタル機の利用拡大による現場普及を図っています。施設野菜の高温対策

として遮光・遮熱資材の品目別の導入仕様を検証してきましたが、近年の高温下では資材のみでは対策不足であり、物理的に空気を排気する新たな機器を使用して継続試験を行う



平高畝整形機（ベッドマイスター）施工の様子



雨よけハウス

露地

きゅうり露地栽培と簡易雨よけハウスの病害虫発生比較（9月下旬頃の様子）

■生産振興『果樹』

引き続き、安定生産に向けた施設化、省力機械や栽培技術・品種等の実証を継続して行い、実証結果による栽培技術の普及を進めることで生産出荷量の拡大を目指してまいります。

リンゴの高密度栽培の普及拡大に向け、剪定講習会やリンゴ高密度栽培研究会を開催し、栽培安定に向けた技術指導を進めています。気象災害・変動に対応した生産安定化対策として、コンクリートトレリスの普及推進を進めています。課題であったコスト低減策として、輸入のコンクリートトレリスのモデル圃を県下2ヶ所で設置し実証を行っています。また、リンゴからモモなど地域特性に合った品目転換誘導の一貫として、モモの技術研修会による指導体制強化に取り組んでいます。

さらに、高温対策における栽培技術や資材について県試験場等と連携し検討を進めるほか、労力低減に向け、高所作業車や追従運搬車等の省力機械実演会を開催する予定です。

■優良種苗の安定生産

野菜種苗センターでは、高品質苗の生産を行うため、生産工程管理の徹底を図っています。

また、リンゴ苗木事業では、JA出資法人に生産を委託し、フェザー苗木等の生産拡大を図り、令和7年度は50,000本を県下JAに供給しました。令和8年度についても50,000本のフェザー苗の生産供給を計画しています。



リンゴ高密度栽培研究会の現地検討の様子

■生産振興および営農技術員の指導体制強化に向けたシステム開発

生産者の反収向上および営農技術員の指導力向上を目的に、「圃場カルテシステム」の開発を進めています。

同システムは圃場毎の栽培・生育情報、作業情報を一元的に集約することで「圃場カルテ」を作成し、当年度の栽培結果を振り返り、次年度の栽培に反映させることを目的としています。令和7年度には土壌診断システムのデータ連携が可能となり、機能が向上しました。同システム(品目/アスパラガス)は5JAに導入拡大しており、令和8年度は導入JAの運用を支援するとともに



フェザー苗生産圃場

一層の機能向上に向けた開発、改修と、新たな導入推進により6JAでの運用を目指します。

また、リンゴ高密度栽培における「圃場カルテシステム」では、令和7年度に1JAにて試験運用を開始しました。令和8年度はさらなるシステム機能の向上に向けた開発作業と並行し、県内JAに導入を提案してまいります。

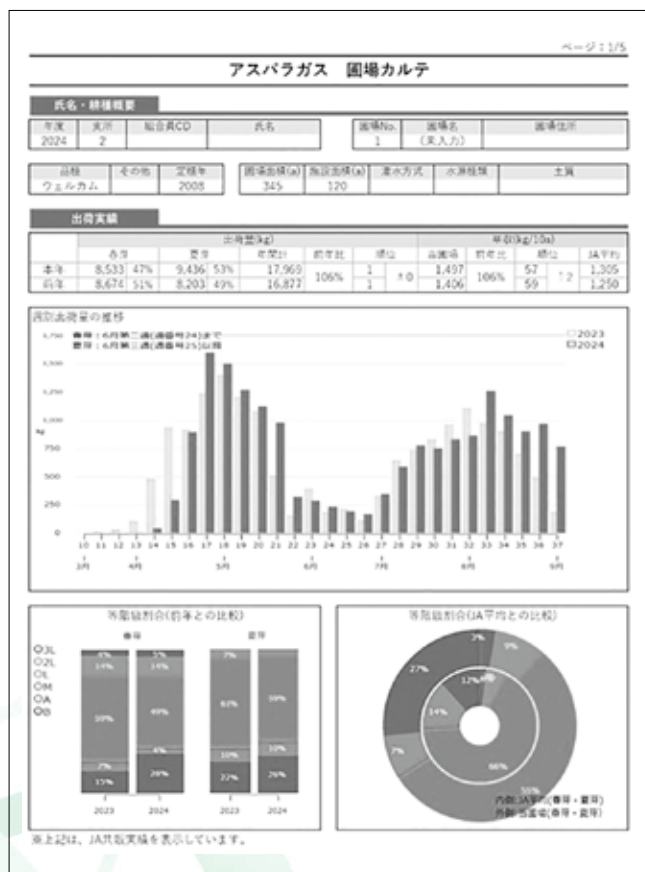
■安全安心な農産物の供給体制の推進

JA長野県グループでは、生産者の農薬適正使用の検証と農産物の安全安心体制の向上を目的に、年間

1,500検体の残留農薬自主検査を行っています。

また、令和7年度より長野県GAPが国際水準に引き上げとなったことから、県と連携し、長野県GAP基準に沿った「長野県GAPチェックシート【生産者確認表】」による取り組みを県下JAにおいて進めています。

生産振興部では生産振興、新たな栽培技術や施設化、生産拡大を目的としたシステム開発をJAと一体となつて引き続き取り組んでまいります。



作成された圃場カルテ

(単位：千円)

大品目	8年度計画	7年度計画	7年度実績	計画対比	実績対比
葉 菜	18,500,000	18,770,000	17,115,040	99%	108%
洋 菜	28,500,000	29,700,000	27,502,477	96%	104%
根 菜	560,000	560,000	535,163	100%	105%
果 菜	5,500,000	5,340,000	5,731,006	103%	96%
加工野菜他	305,000	355,000	295,148	86%	103%
購買種苗他	463,500	465,000	473,349	100%	98%
野菜合計	53,828,500	55,190,000	51,652,183	98%	104%
きのこ	18,781,800	18,740,000	19,932,684	100%	94%
きのこ加工	55,000	100,000	53,767	55%	102%
種菌培地	270,000	310,000	280,094	87%	96%
きのこ合計	19,106,800	19,150,000	20,266,545	100%	94%
合計	72,935,300	74,340,000	71,918,727	98%	101%

野菜きのご課

生産販売部 野菜きのご課の取り組み

1. 令和8年度野菜きのご課事業計画

令和8年度事業計画達成に向けて、野菜ときのごは次の重点取組事項を進めてまいります。

生産者手取りの最大化に向けて、計画生産への取り組みの啓発を図ります。生産コスト上昇に対しては適正な予約価格および取引条件への見直しを行います。きのごは生産アイ

テムを集約し、作業効率や管理・出荷を含めたトータル的なコスト削減を目指します。また、マーケティングによる生産基盤強化と系統集荷販売対策として、需要の見込まれる業務用キャベツとブロッコリーの生産拡大を推進します。きのごは、種菌の安定供給体制の維持に向けて引続き体制整備に取り組みます。

2. 野菜 重点取組事項

(1) 生産・流通コスト上昇における対策として、農産物販売価格向上と生産経費圧縮に向けた生産販売

① 生産コスト上昇に伴う売価への反映と消費者への啓発を行います。

② 契約的取引価格の継続した値上げ交渉を進めます。

③ 県下統一出荷容器規格の検討を進めます。

(2) 主力品目の需要を踏まえた計画生産・販売を徹底し、販売価格の安定を図ります。

① 時期別に課題となる夏ハクサ

イ、レタス類の生産計画を、地域に見合った具体的な代替品目の提案と合わせて作付け誘導を進めます。

② 生産量の拡大が必要な品目については、期間を明確にして生産対策を講じていきます。

③ 業務加工用向けの原料供給拡大や新規企画・商品開発に関わり、需要を創出していきます。

④ 出荷計画・作柄情報に基づき、積極的な企画提案により売り場を構築していきます。

⑤ 緊急時には特別対策事業を機動的かつ効果的に発動して出荷調整機能を発揮します。

(3) 重点市場・実需者を明確にし、JAと一体となった供給販売体制を強化します。

① 県内産地リレーや総合品目供給を進めるとともに、消費伝事業を効果的に活用し、重点実需者への対応力を強化します。

② 契約取引は生産者手取り確保を目的として、確実に契約履行できる体制を構築します。

(4) 品質向上と安定出荷対策を進め、本県産の販売先確保と顧客満足度を高めます。

(5) 多様な生産者への生産提案による生産基盤強化と、系統共販対策を進めます。

① 加工業務原料野菜等を農業生産法人・営農組合・複合経営生産者などへ推進し生産拡大と集荷対策を進めます。

② 果菜類等の生産拡大のため多様な生産者への生産振興対策を進めます。

3. きのご 重点取組事項

(1) 計画生産の取り組みと需給バランスを鑑みた臨機応変な販売対応の構築を進めます。

① 再生産価格確保に向けた計画生産を推進します。

② JAと連携して、生産者の実態把握と系統集荷対策による集荷計画の精度向上に取り組みます。

③ 市場流通動向と消費ニーズを把握し、有利販売を進めます。

- (2) きこの販売価格向上ときこの商品価値の醸成を進めます。
 - ① 生産コスト上昇に伴う売価への反映と消費者への理解醸成を行います。
 - ② 契約取引の条件見直しと値上げ交渉を進めます。
 - (3) アイテム集約と量目規格統一による供給ロット確保と提案力の強化を進めます。
 - ① アイテムや量目規格の集約によりトータルコストの削減を進めます。
 - ② 荷造りアイテムの集約による販売・提案力の強化を進めます。
 - (4) 効果的な消費宣伝事業を実施します。
 - ① 出荷計画に基づいた効果的な店頭宣伝の実施を進めます。
 - ② 食育活動とイベント開催により需要の創出を図ります。
 - ③ きこの食文化と需要創出にむけた各種研修会の開催およびレシピの開発を行います。
 - (5) 安全安心に向けた衛生管理の徹底と品質向上を進めます。
 - ① 金属、ガラス、プラ片など健康被害案件につながる異物混入対策の徹底に向けて、講習会や
-
- (6) 物流課題への対応と物流コスト抑制に向けた段階ボール開発の検討を行います。
 - ① 輸送効率化に向けた集出荷体制と納品方法の見直しを進めます。
 - ② パレット規格に適合する段ボールの開発検討とパレット単位輸送の検討を進めます。
 - (7) きこの種菌の安定供給体制の維持に努めます。
 - ① 中核種菌センター方式による効率的な母菌供給体制を堅持していきます。
 - ② 農工研との連携によるきこの優良品種開発と普及を進めます。

4. 消費宣伝事業の取り組み

- (1) dancyu 食堂×長野県JA産きのこ
 - ① コラボメニューの展開
 - ② 雑誌「dancyu」コラボ
 - ③ Web記事にdancyu食堂提供メニューと生産者への取材内容を掲載



- (2) 7月2日「夏の長野県産レタスの日」に合わせた消費拡大プロモーション

6月22日(月)～7月5日(日)の2週間に集中的に実施する

 - ① 小田急沿線車内での車内デジタルサイネージ広告（記事広告＋15秒動画）
 - ② ニュー新橋ビルでの共同通信サイネージ広告（記事広告＋15秒動画広告）
- (3) 消費拡大に向けた販促フェア
 - ① 800。DEGREES ニュウマン新宿での長野県産レタス3種フェア
6月24日(水)～7月22日(水)
 - ② ルミネ新宿アグリマルシェへの出展
6月26日(金)～27日(土)開催
- (4) Youtube インフルエンサー「西野未姫」さんとのタイアップ企画

チャンネル登録者29万人、平均再生回数約60万回の西野未姫さんとタイアップし、レシピ動画の配信により本県産青果物の認知度向上と消費喚起につなげる。

 - ・配信期間／令和8年10月上旬から無期限
 - ・配信レシピ（案）／「セリリーおやき」「ブロッコリーのツナマヨふりかけ」
- (5) きこの食育用「信州力ぶつくりシール」の作成
 - ③ ルミネ新宿マルシェおよび800。DEGREESのSNSでの記事投稿



令和8年度 長野県青果物・花き取引会議に80名が出席

J A全農長野は6月4日(木)、長野市内で「令和8年度 長野県青果物・花き取引会議」を開催しました。全国の取引先から主要卸売会社23社の代表者、長野県から阿部守一知事をはじめ農政部関係者が参加し、全農長野の眞島実副会長、長谷川孝治県本部長、また県内J A組合長など合わせて80名が出席し、開催しました。

この会議は、長野県産青果物・花きの出荷シーズンを迎えるにあたり、長野県産ブランドの販売強化による農家手取りの向上と、卸売会社とのパートナーシップ構築を目的に開催しています。

会議冒頭、眞島副会長が「生産コスト高騰や国際情勢の影響を踏まえ、サプライチェーン全体で持続可能な供給体制の構築と販売効率化に取り組み、J A・全農長野が一体となり安定供給を目指す」と主催者を代表して挨拶し(＝表紙左上)、来賓代表として阿部知事は「長野県農業の発展と生産者の尽力に感謝する。気候変動や資材高騰の中、生産者と流通双方の声を踏まえ、適正価格を確保しつつ、評価の更なる向上と持続的発展を目指す」と挨拶しました(＝表紙右上)。

会議では、小林博生産販売部長より取扱計画や生産販売の重点方針ならびに青果物販売管理システムの現状と将来構想を説明、長野県の根橋幸夫農政部長より長野県農政の展開方向についてお話いただきました。

<協議事項>

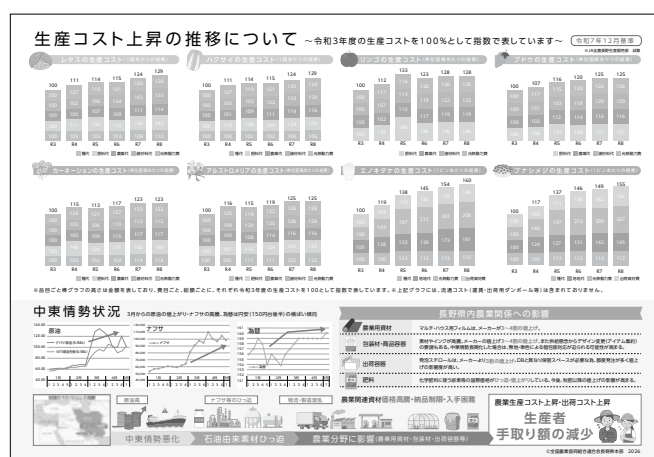
1. 長野県 根橋農政部長「長野県農政の展開方向について」

安定供給に向け作柄安定と生産体制を強化し、高温下でも供給できる産地を維持する。果樹は将来を見据えた品質向上を図り、輸出拡大や国際GAP対応、環境配慮型農業を推進。資材高騰に対応した適正価格形成を目指す。

2. 全農長野 小林生産販売部長

- (1) 「全農長野県本部 青果物・花き生産販売方針、生産コスト上昇の推移」(右図参照)
中東情勢の影響や生産コスト上昇の推移と価格転嫁の取り組みについて説明
- (2) 「青果物販売管理システム概要と将来構想について」

現在運用開始・開発を進めている「青果物販売管理システム」により、現場の労務改善・業務効率化を推進し、データ活用により有利販売に資する体制を構築する。



<卸売会社からのご提言> (代表提言者と提言テーマ、および要旨)

1. 東京青果株式会社 代表取締役社長 川田 光太 様

「食料システム法に基づく青果物販売の今後について」

人口減少や消費変化により青果物需要が縮小し、サプライチェーン改革が必要。価格は需給で決まるが、短期的な価格決定のためだけに協議するのではなく、中長期視点で農業生産の持続可能性確保を重視すべき。出荷環境の見直し共有や、小売・加工を含めた理解醸成が重要で、産地と連携した数量配分や様々な等級品の活用など多様な流通対応を進め、変化に強い市場構築を目指すべき。

2. 株式会社R&Cながの青果 代表取締役社長 堀 陽介 様

「青果物業界におけるDX化および物流合理化への取り組みについて」

青果物業界全体では、持続可能な対応を前提に、共通ルールや枠組みの必要性が高まっている。人手や資源が制約される中でも安定したサービス提供が求められ、青果業界でも好循環の構築が課題。従来の「勘と経験」に依存した業務は限界に達し、DXによる可視化と業務改革が不可欠となっている。物流規制への対応も含め、変革は経営上の危機であり同時に成長の機会でもある。

3. 株式会社大田花き 代表執行役社長 萩原 正臣 様

「これからの花き販売のあり方とコスト上昇への対応について」

花きは、業務需要減少から、個人・家庭需要へとニーズが変化してきた。今後は更なる運賃値上げ、ドライバー不足による「2030年問題」が課題。34%の荷物が運べなくなると推計されている。

J A全農長野生産販売部は今回の取引会議をふまえ、農産物の適正価格や物流課題、業界のDX化についての課題解決策を様々な角度から検討し、また、販売環境や消費動向の変化に合わせた対応により、有利販売に向け今まで以上に体制構築を進めてまいります。

(大阪販売事務所)

大阪市中央卸売市場にてレタスの販促イベントを実施

J A全農長野大阪販売事務所と京阪神中四国地区の信州野菜推進協議会は6月11日(木)、大阪市中央卸売市場本場でレタスの販促イベントを行いました(=表紙右下)。長野県はレタスの生産量日本一を誇り、夏場が出荷最盛期となることから、2024年に7月2日を「な(7)つ(2)」の語呂合わせで「夏の長野県レタスの日」として記念日登録しています。

6月に入り出荷が本格化する中、レタスの主産地であるJ A長野八ヶ岳・J A佐久浅間・J A信州うえだの関係者が集まり、買参人などに向けてレタスをPR。レタスやハクサイ、リンゴジュースなどを配布しながら魅力を売り込みました。各産地が集って大阪市中央卸売市場本場で「夏の長野県レタスの日」イベントを開くのは初めてです。J Aの代表者は「日頃、長野県産農産物をご愛顧いただき感謝します。長野県には品質にこだわった産地がたくさんあります。今年も瑞々しい良いレタスができたので、ぜひ皆さんに新鮮シャキシャキなレタスを食べてもらいたい」と呼び掛けました。また、全農長野野菜きのこ課の岡村隼人課長は「いよいよ長野県産レタスの最盛期を迎えました。生産コストが上昇するなか、生産者も精一杯熱い思いで作っています。ここまで天候にも恵まれ、作柄もよく品質もよいものが出来上がっているの皆さんからも広くPRしてほしい」とお願いしました。

全農長野大阪販売事務所は、長野県産の農畜産物を広く消費者にPRすると共に資材高騰など生産者が抱える問題を消費者に理解していただけるよう発信してまいります。

※表紙写真：(右から)全農長野大阪販売事務所・土屋雄一所長、J A長野八ヶ岳営農経済部販売指導課・菊池晋一課長、J A信州うえだ営農部・村田英明部長、J A佐久浅間営農経済部野菜課・矢嶋正智課長代理、全農長野野菜きのこ課・岡村隼人課長

(大阪販売事務所)

近畿大学生を対象に花育イベントを実施

J A全農長野大阪販売事務所は6月3日(木)、近畿大学で学生を対象とした花育イベントを実施しました。このイベントは、京阪神地区信州花き販売推進協議会の活動の一環として、近畿大学華道部と連携し、大学生が花に興味を持ってもらう機会の創出を目的に開催しました。

当日は、(株)JFT姫路生花の畑崎協議会長をはじめ、京都生花(株)、(株)なにわ花いちば、(株)JF鶴見花き、西日本花き(株)、(株)JF兵庫県生花神戸本社、梅田生花市場より、計15名の市場関係者にご出席いただきました。

イベントでは、1コマ目に華道部が講師の生け花体験、2コマ目には生花店の方を講師に迎えたブーケ作り体験を実施しました。体験に先立ち、長野県産花きの特徴や産地の紹介、花に関わる仕事についての説明も行い、花への理解を深めていただきました。

生け花体験に20名、ブーケ作り体験に50名の学生が参加し、「楽しかった」「初めての体験で新鮮だった」といった感想が多く寄せられました。体験後のアンケート(延べ41名回答)では、「このイベントを通じて花への関心度は変わりましたか」という問いに対し、58.5%が「もともと好きだが、さらに関心が高まった」、41.5%が「関心が高まり、購入したいと思った」と回答しました。

全農長野大阪販売事務所では、引き続き協議会と連携しながら、近畿大学における花のPR活動を継続してまいります。



華道部主体の生け花体験



ブーケ作り体験

畜産酪農課

長野県A・コープ県下各店で信州農畜産物フェスタを開催 ～信州和牛・信州アルプス牛を店頭でPR～

5月14日(木)から17日(日)までの4日間、(株)長野県A・コープ各店において「初夏の信州農畜産物フェスタ」を開催しました。日頃のご愛顧への感謝を込め、期間中は豚ブロック肉や牛ステーキ各種の半額販売をはじめ、お徳用パックや日替わり商品の特売を実施しました。

本フェスタでは信州産畜産物のさらなるPRを目的に、信州アルプス牛の生産者および畜産酪農課職員が、ファーマーズ北長野店、ファーマーズ佐久平店、ファーマーズうえだ店、



来店者で賑わう売り場



来店者を惹きつけるフェスタのPOP

ファーマーズ富士見店、ファーマーズこまがね店の5店舗において店頭PRを実施しました。牛ステーキ半額販売に合わせ、各店舗で地元生産者の牛肉を販売ケースに並べ、「ぜひ地元産のお肉を味わっていただきたい」と来店者へ積極的に呼びかけました。

この内こまがね店では試食提供も行い、地元産牛肉の安全・安心と品質の高さを来店者に実感していただきました。初夏の開催ということもあり、バーベキュー用の食材を求める来店者も多く、「地元の牛肉が半額で購入できる」と大変好評をいただきました。信州アルプス牛や信州和牛への高い評価も聞かれ、信州産牛肉の魅力を広く発信する機会となりました。

今後も畜産酪農部では、安全・安心な信州産農畜産物の販売促進と魅力発信に取り組んでまいります。

大阪販売事務所

「京都食肉市場まつり」で長野県産農畜産物の即売イベントを実施



J A全農長野大阪販売事務所は、信州野菜推進協議会と共同で、京都市下京区の梅小路公園にて開催された「京都食肉市場まつり」に出展し、長野県産農畜産物の即売イベントを実施しました。

当日の販売品目は、信州プレミアム牛肉カレー・シチュー、信州オレイン豚カレー、長野県産レタス、サニーレタス、きのこセット、長野興農りんごジュースの計6品目です。イベント当日は天候にも恵まれ、多くの来場者で賑わいました。

特に、きのこセットは午前中に完売、レタスおよびサニーレタスも夕方までに完売するなど、大変好評を博しました。また、カレー類についても順調に販売が進みました。さらに、きのこセットやレタス類の販売時には、本会ホームページ内のレシピへ誘導するQRコードを配布し、調理方法の提案とあわせて本県産農産物の魅力発信を行いました。

今後も大阪販売事務所では、本県ならではの多彩な品ぞろえによる即売イベントを行い、長野県産農畜産物のさらなる認知度向上と消費拡大に取り組んでまいります。



米穀課

東都生協・パルシステム東京との田植え交流会



東都生協の田植え体験（5月30日）



パルシステム東京の田植え体験（6月6日）

5月30日(土)と6月6日(土)の両日、JA佐久浅間とJA全農長野などが共同で、田植え交流会を開催しました。5月30日に東都生協、6月6日にパルシステム東京の組合員の皆様がJA佐久浅間管内の田んぼに集まり、初夏のさわやかな空気の中で田植えを行いました。

「田植えが初めて」という参加者も多く、最初はぬかるんだ足元に戸惑いながらも生産者の指導のもと、1本1本丁寧に苗を植えていきました。

田植え体験後には昼食を囲んだ交流会を行い、生産者と交流する時間を設けました。日頃の栽培における苦労や工夫について直接話を聞いた参加者から、驚きや感謝の声が多く寄せられました。

全農長野米穀課では、今後もこうした交流の機会を大切にしながら、産地の魅力発信と信頼関係の構築に努めてまいります。

! information

農機 & 資材が大集合!!

注目! 操作体験・実演コーナー

屋外実演 開催場所：北側芝生面
開催時間：両日とも ①10:30～ ②13:00～

屋内実演 開催時間：両日とも終日
電動機械各種

ラジコン草刈機・オートモア
クボタ全地形型車両KATR

自動追従運搬車

充電式
グラウンドトリマ

ミニ講習会スケジュール

参加企業	講習題目	(1講義 20分程度)	
		7/17 (金)	7/18 (土)
農業機械	株式会社 ISEKI Japan	ISEKI 最新スマート農機	9:30 12:30
	ヤマハ・アグリジャパン(株)	スマート農業・自動操縦の紹介	10:20
	(有) Ineo topio	“結局どうなの?” に答える。農業用ドローン講座	11:10 10:45
	株式会社山製作所	水に潜った安定農業への道	11:35 9:30
	株式会社甲信クボタ	KSAS でできること、KSAS を活用したスマート農業の紹介	12:00
肥料	株式会社 マキタ	1) マキタが提案する新たな草刈スタイル～充電式グラウンドトリマ 2) ボタン1つで簡単起動～充電式除草機～	13:00 9:55
	片倉コープアグリ(株)	高温障害対策と栽培後半の肥切れ対策について	9:55 13:00
	クミアイ化学工業(株)	田んぼのカメムシ駆除について	10:45 11:10
	JA全農 × 協友アグリ株式会社 共同開発農機 新規水稲用除草剤成分「シクロピラニル (ブランド名: シュタルク®)」のご紹介	12:30 10:20	
	協友アグリ(株)	非選択性除草剤処理農地「ササカ液剤」について	13:30 13:30
農薬	北興化学工業(株)	水稲湛水湛水向けソリューション「リゾグア XL」について	14:00
	シンゲンテクノ(株)	～農機導入することのメリット～	14:30 11:35
	日産化学(株)	枯れ草の堆肥化ありませんか? 根まで枯らせます! オキシバやオアレチノギク等に対する対策のご紹介	14:30 11:35
安全	長野県農政部 × 大塚製薬(株)	熱中症対策の取り組みについて	12:00

※このチラシに掲載中の情報は予告なく変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。写真はすべてイメージです。

長野県農協生産資材事業推進協議会（事務局/JA全農長野）は7月17日(金)と18日(土)の両日、長野市エムウェブで「JA農機 & 資材フェスタ2026」を開催します。

農機メーカー、肥料農薬などの資材関連メーカー55社以上が出席し、農業機械の展示即売はもちろん、肥料や防除など幅広い情報を発信します。

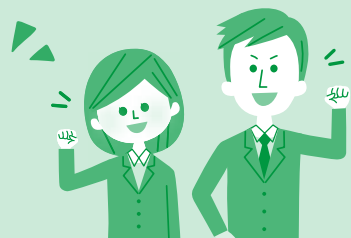
皆様のご来場をお待ちしております。
(裏表紙もご覧ください)

JA農機 & 資材フェスタ2026
次世代農業機械を
「見て」「触れて」「体験する」2日間

New face

新採用職員紹介

令和8年度の新採用職員を順次ご紹介します



東信事業所



くらし支援課

みうら りみ
三浦 理未

様々な商品を勉強中です

はじめまして、東信事業所くらし支援課の三浦理未と申します。出身は松本市です。

休日は、家の近くのパン屋さんへ行ったり、美術館へ足を運んだりしています。車を運転して自由に出かけることが、楽しみになっています。

くらし支援課の生活の仕事は果物などの青果から補聴器などの耐久消費財まで幅広く、学ぶことが多い毎日です。

一日でも早く皆様のお力になれるよう精進してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

中信事業所



生産販売課

かとう ひかる
加藤 光

信州の花を盛り上げます！

はじめまして、中信事業所生産販売課の加藤光と申します。出身は茅野市です。

特技は書道で、八段を持っています。大学では農業サークルに所属し、農家さんのお手伝いや畑での野菜作りに取り組んできました。本会で生産者と消費者をつなぐ役割に携わることができ大変うれしく思っています。

担当している花きに関しては、わからないことも多く、花の品種や特性から学んでいます。日々の業務を着実にこなし、「この人に任せれば大丈夫」と思っただけよう頑張っていきたいと思います。

どうぞよろしくお願いいたします。

中信事業所



くらし支援課

すのはら りょうた
春原 諒大

商品研修会でプレゼンをしました

はじめまして、中信事業所くらし支援課の春原諒大と申します。

出身は長野市です。趣味は体を動かすことで毎週末、埼玉県まで行ってアメリカンフットボールをしています。食べる量と体力だけは自信があります。

まだまだ分からないことばかりですが、多くのことを吸収して、いち早く貢献できるように精進いたします。これからよろしくお願いいたします。



東京販売事務所

しぶさわ なおと
渋沢 直人

大田市場の前で写真を撮りました！

はじめまして、東京販売事務所の渋沢直人と申します。出身は長野市です。

体を動かすのが好きなので、休日にはラジオを聞きながら散歩をしたり、帰省した際には高校時代のチームメイトを誘って野球をしたりなどしています。

きのこ担当として、まだまだ勉強しなければならないことは沢山ありますが、日々知識を深めながら一日でも早く皆様のお力になれるよう頑張っています。どうぞよろしくお願いいたします。

新採用職員の紹介は今月で終了です。

JA全農長野の事業現況

令和8年度5月末総供給販売高実績表 (単位:百万円、%)

品目	区分	当年度実績	計画比	前年比
生産振興課		0	—	0
野菜種苗センター		65	98	96
生産振興部計		65	98	96
米	穀	4,225	89	136
果実	花き	869	84	116
野菜	きのこ	5,541	108	110
営	業	962	78	100
生産販売部計		11,598	95	118
農業	資材	1,700	121	119
肥料	農薬	2,260	109	107
農業	機械	1,352	104	97
施設	住宅	567	227	133
生産購買部計		5,879	117	110
畜産	酪農	5,121	107	106
三岳	牧場	4	8	8
S P F繁殖センター		47	87	101
八ヶ岳	牧場	44	83	95
畜産酪農部計		5,217	105	105
燃料・ホームエネルギー		4,220	107	100
S S協同経営		1,238	112	90
くらし		1,219	99	99
くらし支援部計		6,677	106	98
長野県本部計		29,435	103	109

(内部販売高含む)

7月のラジオ番組表

放送日時	放送局	番組名	出演予定
7/14(火) 11:50	SBC ラジオ	坂ちゃんの ずくだせえぶりでい内 「いい」Aん家庭菜園	資材店舗グループ
7/22(水) 11:50	SBC ラジオ	坂ちゃんの ずくだせえぶりでい内 「暮らしの応援団」	野菜きのこ課

経友会情報

【須高支部】

令和8年度経友会須高支部定期総会が、5月22日に須坂市仁礼の「湯っ蔵んど」にて開催されました。会員7名の方が参加され、JA全農長野からは根津副本部長と安武北信事業所長が出席しました。

事業報告では令和7年5月に「古城荘」で開催された定期総会内容の報告があり、8年度の事業計画や役員改選などが決議されました。安武事業所長からは全農長野の事業推進状況と北信事業所管内の情勢報告を行いました。

令和6～7年度に引き続き、令和8～9年度役員として顧問の柳義博さんと支部長の神林啓一さんが選出されました。新体制は次のとおりです。

新役員 顧問：柳 義博さん
支部長：神林啓一さん
会 計： //
監 事：島津 優さん・柳 義博さん
(監事兼務)

【中信支部】

令和8年度経友会中信支部定期総会が、6月1日に松本市入山辺の「桜清水茶屋」にて開催されました。会員13名の方が参加され、JA全農長野からは小池副本部長と小林中信事業所長が出席しました。

事業報告では令和7年8月に「むさし」で開催された定期総会内容の報告がありました。小池副本部長からは全農長野の事業推進状況と情勢報告を行いました。さらに総会では8年度の事業計画と令和7～8年の役員体制の報告がありました。

懇親会では会員から一人ずつ近況報告をいただき、和やかに親睦を深めることができました。令和7～8年度役員は次のとおりです。

役員 支部長：原田範久さん
副支部長：青木完至さん・浅野尚志さん
監 事：征矢有二さん・内田正俊さん
会 計：田中雅之さん

JA全農長野、松本山雅FCのユニフォーム(背中)パートナーに2026/27シーズンから背中にロゴ掲出

JA全農長野は、松本山雅FCの2026/27シーズン ユニフォーム(背中)パートナーとしての契約締結を決定しました。(契約期間：令和8年7月～令和9年6月)

全農長野は、2010年よりプラクティスウエア(背中)パートナーとして、「サポーターとともに選手の背中を押す」というコンセプトのもと、さまざまな形でチームを支援してまいりました。また、松本山雅FC様が取り組まれている農業体験と学校給食の連携、地域に根差した実践的な食育活動は、JAグループが推進する「国消国産」の取り組みとも高い親和性があると感じております。こうした想いをさらに強め、このたびプラクティスウエアに加え、ユニフォームパートナーとしても支援させていただくことを決定いたしました。

今後も、食材提供や各種イベントとの連携を通じて、安全・安心な長野県産農畜産物の魅力発信と、クラブのさらなる発展を支援してまいります。



2026/27ユニフォームデザインのお披露目ともなった契約締結記者会見(6月19日)

グリーンレーダー
X(旧ツイッター)はこちら



グリーンレーダー
WEB版はこちら



次世代農業機械を

見て

触れて

体験する

2日間



26th

JA 農機&資材フェスタ

7月17日(金)・18日(土)

9:00~16:00

9:00~14:30

開催場所

エムウェーブ

長野市オリンピック記念アリーナ

どなたでも
入場無料

ご来場
プレゼント

数量限定

当日ご来場のお客様に
オリジナル
トートバッグ
プレゼント!!

※画像はイメージです。

ご成約
プレゼント

当日20万円以上
ご成約のお客様に
記念品
プレゼント!!

注目! 特設コーナー

1

JA推奨型式

一括購入によりコスト低減。
JA担当者「おすすめ」の
農業機械を紹介します。

JA
長野県
推奨



2

水稻湛水直播

(リソケス、直播仕様田植機)

直播だと、
苗立ちが良い。
秘密は種子にある。



3

栽培管理支援システム(ザルビオ、Z-GIS)

Z-GIS
全農 営農管理システム



②Z-GIS で見える化情報利用

③各種情報・AIによる解析・提案

全国7千人以上の稲作生産者の声を反映
生産者&JA
共同購入コンバイン

あかけさまで、ご契約台数
1,300台突破!
(令和8年1月末時点)

ヤンマー コンバイン
YH448AEJU

メーカー希望小売価格
7,700,000円(税込)



必要な機能を厳選
シンプルで低価格を実現

4条別り
51.5馬力
48.4馬力

肥料・農薬
農業資材
コーナー

施肥・防除・高温対策資材等、
ニーズに沿った
ご提案をします。



JAファームも出展します。



農業機械を
一堂に展示



最新
スマート農機



操作体験・
実演



見て・触れて・
学んで

ミニ講習会
開催



会場へのアクセス



エムウェーブ(長野市オリンピック記念アリーナ)
〒381-0025 長野県長野市大字北長池195

駐車場入口について

お車で越しの際、「木工団地南入口」
交差点から南ゲートに入場していただくとスムーズです。
南ゲート周辺は、工事箇所がございますのでご注意のうえ
ご来場ください。



●主催: 長野県農協生産資材事業推進協議会

●後援: 長野県・JA全農長野



光と風と水のハーモニー
JA全農長野

JA 全農長野ホームページ…………… <https://www.nn.zennoh.or.jp>
インターネットで産地直送「JA タウン」…………… <https://www.ja-town.com>

